

スイス旅行の思い出

三 田 康 成 (春秋会)

2015年7月に家族でスイスを鉄道で回りましたので、そのときの思い出を書きたいと思います。

(1日目7/12) いざチューリッヒへ

成田を出発して12時間半のフライトでチューリッヒに到着。この日はチューリッヒ中央駅まで移動して早めにホテルで休みました。

(2日目7/13) 登山鉄道に乗ってロートホルン山頂を目指そう

朝、チューリッヒ中央駅を発ち、今夜宿泊予定のインターラーケンのホテルに荷物を預け、ブリエンツに移動。登山鉄道に乗って、高山植物がきれいなロートホルン山頂を目指します。ちなみにこの鉄道は蒸気機関車で、客車を引くのではなく、後ろから押して登ります。帰りは客車を受けた状態で麓までバックします。

ブリエンツに戻ったら、インターラーケン行きのクルーズ船を知りました。当初予定にはありませんでしたが、思い立ったが吉日ということで湖上の風を受けました。

(3日目7/14) 真夏に雪遊びしたい@ユングラウヨッホ

この日のメインイベントは、真夏のユングラウヨッホでの雪遊びです。

インターラーケンからクライネシャディックまで行き、列車を乗り換えます。クライネシャディックまでは、西回りルート／東回りルートがあって車内も空いていますが、その2ルートともクライネシャディックが終点です。ここで乗り換え列車を待っていると、何か小さい…。でもこれに乗れないと、次は30分後です。すごい人数が殺到し、人を押しのけ

て乗り込みます。無理矢理乗り込みましたが、駅員は降りろと指示…。家族が奥に居る、と懸命にアピールして免除してもらえました。列車が出発して車外を見ると、残されているのは日本人ばかり。ただ、クライネシャディックから先は急勾配で、人数制限していた意図がよく分かりました。一本待って座っていくのが正解だったかもしれません。

ユングラウヨッホに着くと下界とは別世界の銀世界。妻や娘はそり遊びに大はしゃぎ。7月に雪遊びができるなんてビックリです。

帰りは電車の途中区間をハイキング。のどかな景色が広がっていました。

(4日目7/15) シルトホルン山頂の回転展望レストランで食事したい

今日の宿泊地はツェルマットなので、まずはトランクをインターラーケンからツェルマットに送ります。スイスでは駅から駅に荷物を運んでくれるので、大きな荷物に煩わされることなく観光できます。

トランクがなくなって電車に乗ると、車内に滑り台があります。なんて子供に優しい国でしょう。その後、登山鉄道・ロープウェイを乗り継いでシルトホルン山頂（標高2970m）へ向かいます。ここには回転展望レストラン「ピッツ・グロリア」があります。映画「女王陛下の007」の舞台であったということで、ジェームス・ボンドがあちらこちらにいました。景色のいい席は空いていないなあと思いつつ取り敢えず席を確保し食事を待っているといつの間にかグッドロケーション。そうです。50分で1周するのでから直にいい景色になります。それにしても山頂に回転レストランとは驚きでした。

007映画の世界を体験できる"Bond World 007"などをひと通り見学したら、再びロープウェイ・登山鉄

道を乗り継いでツェルマットまで下りました。ツェルマット駅でトランクをピックアップしてホテルに向かいます。気のせいかもしれませんが、ツェルマットではエンジン自動車は走行できず電気自動車オンリーのせいでしょうか。電気自動車の特許を手掛けている者としては、電気自動車の実地調査も大事な仕事のひとつです。

(5日目7/16) マッターホルンを間近に見たい

ツェルマットから登山鉄道でゴルナーグラート展望台に行きました。ここから見るマッターホルンはとてもきれいです。

帰りは登山鉄道で1駅だけ下ってローテンボーデンからリッフェルベルクまでハイキングです。

途中、湖面に映る「逆さマッターホルン」で有名なリッフェル湖に寄りましたが、風が微妙に吹いており湖面が揺らいでしまっただけで逆さマッターホルンには出会えませんでした。

リッフェルベルクから再び登山鉄道に乗ってツェルマットに戻り、今度はスネガ展望台を目指します。麓駅から、山の中を貫くケーブルカーに乗って外に出たところがスネガ展望台です。ここでもマッターホルンがきれいでした。スネガ展望台からは、斜めに上昇・下降する無料エレベーターがありこれでライ湖に行きました。湖の回りは公園になっていておもしろい遊具がいっぱいです。娘はなかなか帰らせてくれませんでした。

(6日目7/17) 真夏に雪遊びしたい@グレーシャーパラダイス

ツェルマットからロープウェイを乗り継いでグレーシャーパラダイスに到着です。ユングラウヨッホでは薄手のパーカーを着て、そり遊びをしていると汗ばみましたが、ここグレーシャーパラダイスではさらにカッパを羽織っても寒かったです。標高が3466mvs3833mの違いでしょうか。天候もよくなかったのではほとんどの時間をレストランで過ごし、天気を見計らってスノーチューブ遊びです。でもや

はり寒い。早めにツェルマットのホテルに戻り休みました。

夕方、町に繰り出すと、マッターホルンへの初登頂（1865年）から150周年のフェスティバルが開催されていました。生バンドにあわせてみんな好き勝手に踊ります。日本の盆踊りよりも楽しいなあ。

(7日目7/18) スイスの首都はベルンです

スイスの首都はチューリッヒでもジュネーブでもありません。ベルンです。ツェルマットからベルンに移動してのんびり街の散策です。アインシュタインが特許庁審査官時代に住んでいたというアインシュタイン・ハウスや400年も時を刻み続けている時計塔などを見学しました。その後、ベルン中央駅に戻ってアーケード街をぶらぶらしました。ちょっとしたお店でも店名看板に®が付いていました。

(8日目7/19) スイスの最後はチューリッヒ

ベルンからチューリッヒに移動して、まずはチューリッヒ中央駅からトランクを先に空港に送ります。このトランクは飛行機に載せられるので再会は成田です。邪魔なトランクがなくなったので、チューリッヒ湖を遊覧船で回り、フライト時刻まで市内観光です。

行きは成田→チューリッヒ直行便でしたが、帰りは直行便が取れなかったためデュッセルドルフで乗り継ぎし、成田に到着しました。

終わりに

スイスは物価が高いため、少しでも経費節約ということで、全行程自力で回りました。今回、紙面スペースの関係でざっくりと書きましたが、いろいろなハプニングはありました。ただ、欧米というと治安の面でどうも緊張が解けない私ですが、スイスはとても平和でトラブルは皆無でした。それと今の時代、インターネットが強い味方です。

今回の記事がお役にたつことがありましたら、とても嬉しく思います。



息子とゴルフ

金森 靖宏 (春秋会)

1. はじめに

会員便りの執筆依頼を頂きました。私には現在10歳になる息子がいます。息子は3歳からゴルフをやっています。というわけで、息子とゴルフのことなら書きやすいので、息子のゴルフライフについて書かせて頂きました。

甚だ親バカな内容になってしまい恐縮ですが、読んで頂けましたら幸いに存じます。

2. 息子がゴルフを始めたきっかけ

息子がゴルフに興味を持つようになったのは、私と妻の誘導によるところが大きいと思います。「夢を持つなら早い方がいい」「三つ子の魂百まで」「男の子ならスポーツ選手だよ」などと淡い期待を抱きながら、まだ2歳半の息子におもちゃのサッカーボール&ゴールセットと、おもちゃのゴルフクラブセットを与えてみることにしました。

しばらくして、息子はおもちゃのゴルフクラブセットでしか遊ばないようになっていました。当時の息子は、滅茶苦茶なフォームでボールを打っていましたが、夢中になってゴルフを楽しんでいました。息子が3歳になる前、当時ハニカミ王子と呼ばれていた遼くんが史上最年少で獲得賞金1億円を突破した2008年頃のことです。

3. 3歳～4歳の頃

3歳になると、息子は次第にゴルフに興味を持ち始めました。そこで、ルールもろくに知らなかった私や妻が、男子ツアーのテレビ中継で見た遼くんのスイングを参考に、息子にゴルフレッスンもどきをするようになりました。

ほどなく、妻が「本物のクラブで練習させようよ」と言うので、スポーツ量販店に行きジュニア用の

ドライバー・7番アイアン・パターを購入しました。それからというもの、妻は近所の海浜公園で、ウレタン製のボールを打つ練習を息子にさせるようになりました。

その後も、息子はゴルフにどんどんハマっていきます。息子は、テレビに映る遼くんのスイングを見ては、そのスイングをひたすらマネるように、当時住んでいた広島市内のアパートの狭い部屋の中で何度も何度も素振りをしていました。

息子以上に熱が入っていたのが妻です。公園での練習では物足りないと感じたのだと思います。妻はめばしい練習場に手当たり次第に電話をかけ、3歳でもプレイさせてくれる練習場を探し始めたのです。そして、広島市内にある「舟入ゴルフガーデン」という練習場が、息子がプレイすることを快く受け入れてくれました。元々人見知りの妻が、見知らぬ小父様方が集う練習場によく足を踏み入れることができたのだと今でも感心しています。

息子のスイングがそれらしくなってきた頃、息子をショートコースへ連れて行くことにしました。広島空港の近くにある「ウイングパークゴルフ」というショートコースです。ここは、各ホールが何れも40～60ヤード程度と短く、老若男女が気軽にゴル



フを楽しむコースです。スタートホール直後、練習の成果が多少はあったのか、息子の打ったボールがグリーンに向かって真っすぐ飛んで行くので驚いたものです。しかし、まだ幼児だった息子の集中力がそれほどもつわけがありません。初めて見たバンカーに心躍らせた息子は、体験したことのない砂の上からボールを打ちたくて仕方がなかったのでしょう。スコアなど気にせず、わざとバンカーにボールを入れては出す、出してはまた同じバンカーにボールを入れる、の繰り返しをやる始末でした。

4歳になっても息子のゴルフ熱は冷めることなく、また遼くんを心の師と仰いだのか、息子はすっかり遼くんのファンになっていました。そして、息子は初めてツアー観戦をすることになります。観戦したのは、福岡の「茶屋ゴルフクラブ」で毎年開催されている男子ツアー「KBCオーガスタ」です。そこで、息子は初めて遼くんのプレイを目の当たりにしました。私に肩車をされた息子が目をキラキラ輝かせながら遼くんのプレイを見守っていた様子を今でも思い浮かべることができます。

4. 4歳～7歳の頃

2011年、私が都内の特許事務所に転職することをきっかけに、私達家族は広島から千葉（柏市）に引っ越すことになりました。千葉を選んだのは、千葉にはゴルフ場が多いため、ゴルフをやるには最適だろうと思ったからです。しかし、幼児が練習できそうなところを妻が片っ端から電話で問い合わせても、まだ4歳の息子を受け入れてくれるショートコースや練習場は中々見つかりませんでした。

しばらくして、自宅から車でわずか10分程度のところにある「美里ゴルフセンター」という練習場で、毎週土曜日、親子でレッスンを受けられる親子スクールが開催されていることを知りました。妻がその練習場に詳細を問い合わせたところ、「まずは体験されてはいかがですか」とスタッフの方から誘われたので、体験レッスンを受けてみることにしました。この親子スクールを、同センター所属の滑川プロが担当されています。60歳を過ぎても若々しく、レッスン生からの信頼も厚いコーチです。息子は良い師

匠に巡り会えたと思っています。

その一方で、幼稚園児の息子をプレイさせてくれるショートコースを見つけるのにも時間がかかりました。最初に茨城県守谷市にあった「ファミリーゴルフ守谷」を見つけ、次に同県稲敷郡にあった「利根川ファミリーナインゴルフ」を見つけました。残念ながら共に閉鎖されてしまいましたが、特に「利根川ファミリーナインゴルフ」はリーズナブルで、何度も利用させて頂きました。

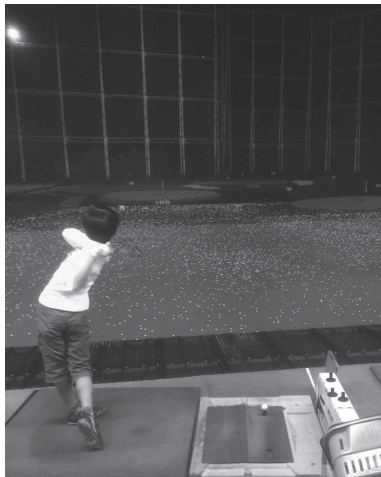
5. 8歳～現在

8歳になった息子は美里ゴルフセンターが開校しているジュニアアカデミー(MGJA)に入会します。MGJA入会後は、茨城県内のゴルフ場での本コースラウンド研修への参加、柏市内のショートコースでのラウンド研修への参加、練習場でのボール打ち放題、そして夏のゴルフ合宿などへの参加が認められます。

MGJAの活動は、ジュニア会員の保護者からの寄付などによって成り立っています。また、低料金で参加できる本コースラウンド研修は、滑川プロをはじめ、美里ゴルフセンター関係者の皆様による各ゴルフ場への地道な働きかけによって実現しています。

MGJA入会後、息子はラウンドを重ねるごとにベストスコアを更新していき、最近では関東小学生ゴルフ決勝大会への出場、日本ジュニアゴルフ協会(JJGA)での地区予選大会での優勝を経験しました。今年(2016年)の春頃までは少なくとも同年





齡のジュニア会員の子等達を大きく引き離す勢いで息子はレベルアップしていたように思います。

しかし、その後、息子は調子を崩していきます。その原因はフィジカル面とメンタル面の双方にありました。フィジカル面での原因は、最近になって身長がぐんと伸びたせいかなまでのスイングが通用しなくなってきたことにあります。メンタル面での原因は、自分が同年代の子達より上手いかのように錯覚して天狗になってしまい、素振りなどの地味な練習を敬遠してしまっていたことにあります。

現在、息子は、18ホール・パー 72のコースをイー



ブンパーで回れる実力をつけるまでは、本コースラウンド研修への参加を取り止め、地味な練習メニューをこなす日々を送っています。

6. おわりに

息子がゴルフを始めてから、それまで全く興味が無かった私や妻もゴルフをするようになり、現在2歳の娘もゴルフをするようになれば、将来、家族4人でラウンドできる日が来るかもしれません。その日が来るのを楽しみにしながら、息子の成長を見守っていききたいと思います。



育てよ！ AI ～シンギュラリティの夢～

栗 田 洋 （稲門弁理士クラブ）

「アイを育てよ」などと切り出すと、時代遅れのトレンド・ドラマを連想させますが、愛ならぬ人工知能（AI）が導くシンギュラリティの小話をさせていただきます。

ここでシンギュラリティとは、「AIの性能が、ヒトの知能を超える特異点」という意味で使っております。

AIはライバルか？

「AIは弁理士の仕事を奪う」ということが、真面目に話題とされる状況です。

中央公論4月号の特集記事で取り上げられた英オックスフォード大学と野村総研との共同研究の試算では「10年～20年後に80%以上の確率で弁理士もAIで代替される」というようなことが記載されています。弁理士の主要な仕事は、法律や審査基準に基づく決まり事や形式を満たす知識を要求している点に着目して試算されたのでしょう。

しかし、私は「AIが仕事をしてくれるなら、こんない時代はない」と密かに思っておりました。元々、AIのベンチャー企業に在籍していたこともあり、自らの仕事をルーティン化して、仕事の質とスピードを上げたいと考え、仕事の手順、計画、時間管理にかなりの労力を割いています。そうした労力の成果をAIに吸収してもらい、私には思いも付かなかったノウハウを生み出してほしいとも思っております。

紹介した記事のように高確率でAI代替ができるというなら、今の内にAIへの代替を前提としたシンギュラリティ後の特許事務所を考えてみるのも悪くありません。追いかける側よりも、押し進める追う側にいた方が居心地いいものです。

指数関数的に伸びるAIの性能

追う側が有利というのは、スポーツなどの勝負事でよく見られる現象ですが、シンギュラリティ論者のレイ・カールワイルが、シンギュラリティが近い将来に訪れることを示す根拠として挙げる指数関数的進歩から考えると納得がいきます。急速に進歩の曲線が傾斜角を高めていくわけですから、追われる側は急に追い越されて、気付いたときには遙か先に行く後ろ姿しか見えないなんてことも考えられます。このように書くと、ちょっと煽りすぎかもしれませんが……。

一定の条件が揃うと急加速して性能を上げて、人の能力を追い越してしまう姿を私達は見てしまいました。そう、ディープマインド社のAlfaGoです。

人工知能囲碁プログラムは、チェスや将棋のプログラムの活躍を他所眼にずっと低空飛行を続けていました。昨年の秋になってようやくプロ棋士2段を相手に勝てるようになりました。それでも囲碁を知る人たちの間では、世界チャンピオンに勝つには後10年は掛かるだろうと言われておりました。人工知能学会の研究者でもそのように考えていた人は多かったと思います。

結果は、皆さんがご存知の通りで、半年もしないうちにヒト最強の打ち手の一人であるイ・セドル氏に勝利してしまいました。ヒトの能力を囲碁打ちに限定してしまうと、専用マシンの話になってシンギュラリティの定義と乖離してしまいますが、シンギュラリティにおける急加速現象のイメージにはなると思います。

シンギュラリティで変わる知財業務とは？

知財業務に絞ってみてもAIにより弁理士の業務だけが変わるわけではないのですから、シンギュラ

リティを追いかけようと思うなら、知財業務のエコシステムから考えた方がよいでしょう。

例えば、特許出願から特許査定に至る局面だけを考えても、弁理士だけで完結するものではありません。エコシステムとして考えるなら、審査業務の協力があって成り立つものです。

もしかしたら、我々の業務に影響の大きい環境としての特許審査の方が先に変わってしまうかもしれません。すでに先行技術調査については、特許庁でAIの導入が検討されていることは皆さまご存知の通りです。ファーストアクションは、AI審査官による審査結果の通知なんてことを夢見てしまうこの頃です。

そんな夢の一つが、進歩性の判断にAIを利用する夢です。夢では当業者レベルの創造性を具現化したAI（AI当業者）があって、容易に想到し得ることの論理づけをヒト審査官が作るのではなく、AI当業者に創作シミュレートさせる審査業務が行われています。出願日を基準とした、それ以前の特許庁のDBに格納された文献データを使って、AI当業者が3秒以内に創作をシミュレートできたことを進歩性欠如の根拠とする審査業務です。社会情勢に応じて進歩性の要求を高めたいときは、シミュレート時間を5秒に調整するだけです。

シンギュラリティにおいて活躍するのは、AI弁理士だけではなさそうです。というよりもシンギュラリティが起きるためには、周りの環境がAI処理のボリュームやスピードに相当するボリュームとスピードとを提供できる必要があります。

世界チャンピオンを下したというAlfaGoが飛躍的に強くなったのは、膨大な量の棋譜データを使ってある程度強くなったところから、自身の分身と対戦を繰り返すシミュレーションを繰り返した結果だそうです。とすれば、審査に耐えるAI弁理士を育てるには、AI審査官が必要なのは容易に想像がつかるところです。

過去のお題（課題と課題を解決するための手段）を入力して、その過去の時点を基準にした大量のデータベースを使って、そこそこのレベルの明細書を作成するAI弁理士を用意する。そこそこのレベル

のAI弁理士が作成した明細書の審査をAI審査官に審査させる。審査結果をAI弁理士にフィードバックさせるシミュレーションを何十万回と繰り返す。こうした過程でハイレベルなAI弁理士を育てることによってシンギュラリティが来るのかもしれない。

シンギュラリティに向けての弁理士業務

シンギュラリティに向かって、そこそこレベルのAIが導入された業務環境同士が相互にシミュレートして、ヒトを介在せずに進歩してしまうのであれば、弁理士業務を変えることに集中して、そこそこレベルのAI弁理士を育てておけば、追う側にいられるのではないのでしょうか？

妄想が膨らむ以前に、弁理士業務のAI代替で少し現実的に考えたことは、個々人への依存度が高く、非効率に落ちていても外からわからない特許明細書作成をAIに任せられないか、ということでした。そこで、現実的に考えた7つの業務についてのメモをここでお伝えして、この小話を終わらせようと思います。

①発明を特定すること

技術的インタビューの議事録から、発明の目的とか構成要素を自動抽出してくれると助かります。

②先行技術を調べて、発明の位置づけを把握すること

大量の特許文献DBがあって、クラウド利用ができる環境が整っていますから、AI弁理士の活躍が最も期待される業務です。上記自動抽出された目的と構成要素から先行技術の検索をして、分析結果を文献リストだけでなく、特定された発明との類似度を俯瞰する特許マップの形で出力してもらえると申し分ないです。

③特許請求の範囲を組み立てること

上記特許マップの中で位置づけられた発明と類似する特許文献から、要件を特定する言葉を抽出し、骨格だけの箇条書きのラフ・クレームを自動生成してもらえると、大変良いです。

④図面を作成すること

クレーム要素を網羅した図面を、クレーム作成と同じ要領で、特許マップの中で位置づけられた発明と類似する特許文献から抽出した図形部分を基に自動生成してもらえると、大変良いです。

⑤明細書を作成すること

一番期待していない業務がここです。論理的にバランスの取れた文章というよりは、中間処理や特許紛争になったときにサポートできる記述を織り込んでいくなど思惑が入るところだからです。

⑥要約書を作成すること

AI弁理士くんにお任せします。

⑦願書を作成すること

ちょっと不安ですが、クライアントの名前を打ち間違えるなどの誤りが無さそうなので、期待が大きいです。

おわり

実家PCのデータバックアップ

榮 野 隼 一 (稲門弁理士クラブ)

はじめに

パソコン（以下、PC）は便利ですが、データがなくなると困りますよね。これは、私が実家のPCのデータバックアップを試みた（記憶の）記録である。仕事用ではないので、予算（使用する機器）や設置スペースを少しで済ませた。

環境の前提条件

PCを使用するのは両親。両親は特にPCに詳しいわけではなく、普段はメールの受信（Webメールではない）とデジカメ画像の取り込み・閲覧にPCを使う。困ったときには私にHELPを求めてくれるが、難しい処理を頼むことはできない。著者が実家に帰るのは年に1回程度。

バックアップ対象のデータ

PCに保存されているバックアップ対象のデータは、メールデータと写真データとする。メールデータは、電子メール管理ソフトにより作られるファイルである。メールデータは、ファイルサイズが小さい（100kB程度の）多数のファイルから構成される。写真データは、デジカメから取り込んだ写真のデータである。写真データを構成する各ファイルは、2～5MB程度である。

その1：CD-Rに書き出す（手動操作）

まずは帰省のたびにデータをCD-RやDVD-Rにバックアップした。この方法はすぐに始められ、（少なくとも初期段階での）費用は低廉であるが、開始早々に以下の問題があることに気づいた。

問題1-1) 1枚のディスクに入るデータ容量に限りがあり、どのデータをどのディスクに記録したかを

別途管理する必要がある。

問題1-2) 2回目以降のバックアップでは、初回のバックアップ以後に増加したデータが把握できていなければ、全体を再度バックアップする必要がある。

問題1-3) バックアップ漏れがあっても気づくことが困難。

そこでこれらの問題を解決すべく次の方法をとることにした。

その2：外付けHDDに書き出す（手動操作）

PCに大容量の外付けHDD（ハードディスクドライブ）をUSBのケーブルで接続し、必要なデータを全て外付けHDDにコピーする。2回目以降のバックアップでは、同一のファイルはタイムスタンプが新しければ上書きし、同じであればコピーをスキップすることで、無駄なコピーを省きつつ漏れの少ないバックアップが可能となる。この方法によれば、上記の問題1-1～問題1-3の全てを解決できる。しかし、自宅のPCではなく実家のPCがターゲットなので以下の問題があることに気づいた。

問題2) 内蔵HDDが壊れると前回のバックアップ以後のデータが失われることは避けられない。たとえば帰省直前に内蔵HDDが壊れると約1年分のデータが失われる。

なお、両親にバックアップ操作を頼むことも可能ではあるが、誤操作のリスクを考えると現実的ではない（失敗を恐れて実行しなくなる可能性が高い）。そこで以下のように改良を加えることとした。

その3：外付けHDDに書き出す（自動）

バックアップ処理を手動で実行することしか考えないから、帰省時にしか実行できないのである。自動で実行すれば帰省の有無に関係なく毎日でもバックアップが可能となる。そこで、自動でバックアップを実行するソフトウェアを導入した（フリーソフト）。PCのCPU負荷を監視し、一定時間（10分くらいだったかな？）CPU負荷が低い場合にバックアップを自動で実行する設定とした。これにより上記問題は解決し、漏れの無いバックアップを毎日実行することができるようになった。

しかし、恐ろしい問題に気づいてしまった。

問題3) もしも外付けHDDが壊れても、普段は壊れたことに気づかない。気づくのはバックアップを復元しようとした時であり、時すでにお寿司！

そこでさらに改良を加えた。

その4：外付けHDDを常時使用し、内蔵HDDにバックアップ

通常の処理では外付けHDDにデータを保存し、そのバックアップ先として内蔵HDDを利用する。具体的にはメール受信ソフトのメールデータの保存先や写真データの保存先を外付けHDDとし、外付けHDDのデータを自動で内蔵HDDにコピーする。もしも内蔵HDDが壊れたら、PCが起動できなくなるので異常発生に気づく。もしも外付けHDDが壊れたら、PCの起動はできるが起動後の処理（メールの受信、写真の保存）が正常にできず異常に気づく。うん、これで大丈夫！ ……と思ったがしばらく使うと問題に気づいた。

問題4) PCの処理がなんだか遅い

これは外付けHDDを多用していることが原因である。一般に内蔵HDDよりも外付けHDDはアクセス速度が遅く、特に使用中のPCはUSB2.0までしか対応していないので外付けHDDは内蔵HDDとのアクセス速度の差が大きかった。そのため、常時使用

するHDDを内蔵から外付けに変更したことでHDDの読み書きに要する時間が増加し、PCの処理が遅いように感じられたのであろう。この問題に対しては、常用データを内蔵HDDに置けば解決するが、上記の問題3が解決できない。そこで、問題の特性に注目して以下のように対処した。

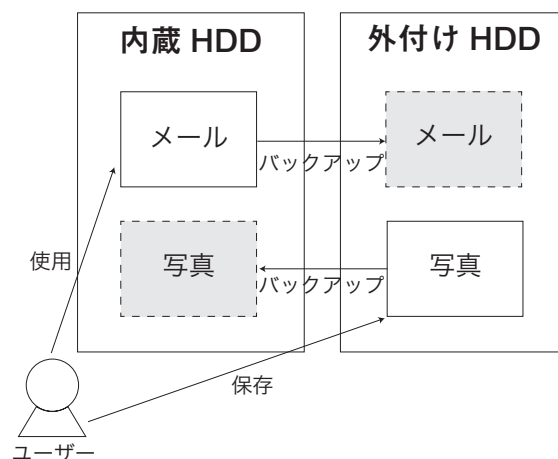
その5：外付けHDDと内蔵HDDを常時使用し、相互にバックアップ

パフォーマンスの影響が現れやすい（ユーザに気づかれやすい）粒度の小さいデータは内蔵HDDに置き、もともと処理に時間がかかる大容量データは多少遅くてもユーザは気づきにくいので外付けHDDに置く。具体的には、メールデータは内蔵HDDに置き、写真データは外付けHDDに置くこととした。そして、メールデータのバックアップを外付けHDDにとり、写真データのバックアップを内蔵HDDにとる。これらの関係を図示すると以下の図のようになる。これにて一件落着である。

なお、PCを買い換えた際には外付けHDDを新しいPCに接続し、外付けHDDにバックアップとして格納されているメールデータを新しいPCにコピーすればよい。

おわりに

ひとまず実家のデータバックアップは安心できるレベルに達したと考えるが、データ量がもっと増えた場合にどのように対処すべきかなど今後の課題は尽きない。これからも楽をするための苦勞を続けていきたい。



東京北区赤羽

楠 和 也 (南甲弁理士クラブ)

1. はじめに

「赤羽」と聞いてみなさんはどのようなイメージを持っているでしょうか。昨年には山田孝之の東京北区赤羽が放映された他、2016年版・住みたい街ランキングでも20位（2015年版では48位）になるなど、最近ではどんどん注目度が上がっていますが、どちらかというと、雑多な居酒屋、キャバクラ、アングラな街並みといったあまりクリーンではないイメージがあるように思います。

私は赤羽に引っ越して早2年半ほどになりますが、これらのイメージはおおよそ間違っていないかなーとも思います。しかしながら、住めば都といえますか、立地が思いのほか良くて都心（赤羽も都内ですが…）に出やすいし、安くておいしい飲食店が多くて新たな店の発掘も楽しいし、商店街主催のイベントも多いし、思いのほか街に活気のあるとても良い場所です。

そこで、赤羽の魅力を少しでもお伝えするために、なるべくライトなところから定番の飲食店や、イベントの紹介をさせて頂きたいと思います。もし赤羽にすることがあったときの皆様の助けになれば幸いです。

2. 居酒屋

赤羽と言えばやはり「赤羽一番街商店街」や「スズラン通り商店街」にある様々な飲食店は外せないでしょう。呑んべえの街ですからね…。土日に駅の近くに行けば、一体何時から飲み始めていたのか、夕方5時には完全に出来上がってる人達が次の店を探して歩いている姿を見ることができます。ほぼ確実に。

①まるます家

まず最初は、ドラマ化された「孤高のグルメ」でも取り上げられたことのあるお店。赤羽一番街商店

街にある「まるます家」です。ここは普通の居酒屋と比べてもかなり異彩を放っているお店で、朝9時からの営業という居酒屋とは思えない営業スタイルを50年以上続けているそうです。

何も知らないうちにこの店の前を通った時はかなりの衝撃を受けました。朝の9時半頃だったのでしょうか、すでに店の外で待ってる人がいたので何のお店かなあとと思って覗いてみると朝っぱらから多くの（オヤジ）客が隣と肩が当たりそうなくらい狭いカウンター席でお酒を飲んでいるではありませんか。いやー、びっくりしました。朝から並ぶだけあってお店は毎日のように繁盛しています。

このお店には、「泥酔客はお断りにつき、酒は3杯まで」という独特？なルールもあるため、お店に並ぶ行列は長いのですが回転も早いため、見た目ほどは待たずに入店できます。肝心の料理についてですが、ちょっと変わったクセのあるものとして様々な鯉料理を食べることができます。また、鯉の他には、店先で鰻の炭火焼きをしており、蒲焼や鰻重も食べることができます。こちらもとても美味しいです。ちょっと早い時間に来てしまったときなど、0次会としてご利用するのは如何でしょう。雰囲気を見ただけでもおススメしたいお店です。

②いこい

理由はよくわかりませんが、赤羽には立ち飲み文化が根付いているように思います。その中でも東口を出て徒歩2分くらいの好立地で、安くて有名な「いこい」を紹介したいと思います。立ち飲みだからか一人でも気軽に入れますので待ち合わせまでの時間潰しなどにはもってこいです。

ここの特徴はなんと言ってもその安さです。とにかく安い！ ハイボールが190円！ 生ビール（500

m l) が360円！ マグロの刺身が130円！ その他お惣菜も110円～！くらいだったと思います（うろ覚え）。結構混んでいることが多いですが、こちらも回転は早い方なので意外とサクッと入店できます。ちなみにここも開店時間は早く、本店は午前11時ですが、支店の方はたしか朝の7時！？くらいから開いていたはずですので、万が一早朝から飲みたくなっても大丈夫です。

③自家製麺 伊藤

居酒屋とくっつきながらいきなりラーメン屋になりましたが、一杯飲んだ後のラーメンは抗えない美味しさがあるのでとても大事デスヨネ！実は赤羽には「ミシュランガイド東京2015」に掲載されたラーメン屋（全22店）のうちの一軒があるのです。東銀座にも同じお店があるので名前を聞いたことがある方も多いのではないのでしょうか（どうやら本店は王子にあるようです）。

赤羽駅から徒歩一分の好立地ではありますが、建物はとても古く、お店の前まで行っても開いているんだか閉まっているんだか分らない店構えですので、入店するのに若干の勇気が必要かもしれません。肝心のラーメンは見た目がとてもシンプルですが、スープが凄いです。ちょっと好き嫌いはあるかもしれませんが、煮干の旨味がたっぷりとても美味しいです！自家製の麺は硬めでワシワシ(?)した感じでスープによく絡んで食べ応えも十分。ただ、麺の量は気持ちすくなかった記憶があるのでお腹を空かせて行くと一杯じゃ物足りないかもしれません（飲んだ後なら丁度よいです）。煮干好きの方は是非とも足を運んでいただきたいお店です。

3. イベント

はじめに書かせて頂いたように、赤羽の商店街の人達は何か活気というかやる気というものは結構あるようで、何かしらのイベントが定期的に開催されています。そこで、おすすめの飲食店を紹介されたところで赤羽に足を運ぼうと考える方は少ないと思いますので、赤羽で催される比較的大きめのイベントを2つほどご紹介させて頂こうと思います。

①馬鹿祭り

赤羽で最も気合の入っていきそうなお祭りイベントといえば4月下旬の土日2日間にわたって開催される馬鹿祭りでしょう。あまり知名度が高くないように思っていたのですが、実は2日間で延べ約40万人が来場する北区最大のお祭りだそうです。ちなみに今年は、ゲスト？枠で柔道銀メダリストの篠原さんと、野村監督がきていました。

東口の特設ステージで一日中誰かしら出演して音楽の演奏等をするほか、パレードもやっています。また、お祭りの当日には赤羽一番街商店街の中にある小学校も開放されて、屋台が出店されるだけでなくブラスバンドの演奏等もやっていますので、いつもよりも更に活気ある雰囲気の中で（昼から）飲めます。

②北区花火大会

花火大会といえば7月～8月くらいが多いかと思いますが、赤羽の荒川河川敷で行われる花火大会は少し季節外れの10月初旬に開催されます。まだ始まってから5、6年目くらいだそうで意外と知らない方も多いと思いますが、赤羽と思って侮るなかれ7000発もの花火が打ち上げられます。残暑厳しい時期とはいえ、真夏の時期に比べれば大分涼しくなっていますし、前もってシート席なども販売されていますのでお子様連れでも安心です。この日には商店街の方でも多くの人がかかるのを見込んでか、商店街の飲食店も様々なサービスをしていますので、花火大会の前後に一杯いくのもおすすめです。

4. 終わりに

本当はもっと紹介したいイベントや、居酒屋、ラーメン店が沢山あったのですが、ページ（と原稿を書く時間）の関係で具体的な紹介はここまでとさせていただきます。しかし、缶ビールを片手に立ちながらおでんを食べる「丸健水産」や、海鮮の美味しい「トロ函」、ラーメンだと季節限定ラーメンの多い「夏海」、店の周辺が凄くトンコツ臭い「龍龍」などなど、面白いお店は多々ありますのできっと飽きないと思います。もし近くに来る機会のある方は足を運んでみては如何でしょうか。

「おそ松さん」に魅せられて

佐藤 雄 哉 (南甲弁理士クラブ)

1. はじめに

皆さんは、いま若い女性を中心に大ブームを巻き起こしている「おそ松さん」というTVアニメをご存じでしょうか。

本稿では、我が家でも大ブームとなっている「おそ松さん」について、ご紹介したいと思います。

2. 「おそ松さん」とは…

「おそ松さん」とは、昭和を代表するギャグ漫画「おそ松くん」を原作としたTVアニメです。「おそ松さん」では、「おそ松くん」で少年だった六つ子が（見た目だけ）大人に成長して登場します。「おそ松くん」が成長して「おそ松さん」。なんともわかりやすいですね。

なお、イヤミ、チビ太、トト子ちゃん、デカパン、ダヨーン、ハタ坊等の懐かしの脇役達も登場します。



(C) 赤塚不二夫／おそ松さん製作委員会

娘の部屋のポスター

3. 六つ子の見分け方

「おそ松くん」では同じ外見で全く区別が付きなかった六つ子が、「おそ松さん」ではそれぞれ個性豊かに描かれており、性格はもちろん、外見においても差別化されています。また、それぞれ異なるイメージカラーが設定されており、イメージカラーのパーカーを主に着用しています。

前掲のポスターを見て、六つ子の見分けが付くでしょうか？見分けが付くようになれば、「松クラスタ」（「おそ松さん」のファン）の仲間入りです。以下では、六つ子の簡単な見分け方について解説します。

まず、前掲のポスターにおいて、最下段中央にいるのが、長男のおそ松です。イメージカラーは赤。おそ松の顔は、弟達のベースとなっているため、実は一番見分けにくいです。以下で言及する弟達の特徴を備えていないのがおそ松、という感じです。

続いて、前掲のポスターの最下段右側で頬杖をついているのが、次男のカラ松です。イメージカラーは青。眉毛が太く、キリッとしているのが特徴です。サングラスをかけていることが多く、また、サングラスを外しているときはだいたいドヤ顔をしているため、判別し易い方だと思います。

なお、カラ松は、ナルシストであると共に、いわゆる中二病を患っており、かなりイタイ発言を連発します。その反面、兄弟思いで優しいという一面もあります。この優しさに心打たれる女性が多く、一松、十四松と並び、人気キャラクターの一人です。

前掲のポスターの最下段左側で押し潰されているのが、三男のチョロ松です。イメージカラーは緑。アホ毛が無いのが最大の特徴です。その他に、眉毛

が「ハ」の字、口が「八」形状、黒目が少し小さい等の特徴もありますが、これらで見分けるには修行が必要かもしれません。

チョロ松は、当初はツッコミ役の常識人という立ち位置でしたが、製作サイドの気が変わったのか、途中からいじられ役のただのボンコツキャラになっています。個人的には、第13話以降にチョロ松に付けられたあだ名がお気に入りですが、諸事情により、紹介を自粛させていただきます。

前掲のポスターの中段右側にいるのが、四男の一松です。イメージカラーは紫。髪の毛がボサボサ、猫背、目が半開き、常にだるそうにしている等の特徴豊かな外見を有しているため、かなり判別しやすいと思います。

一松は、卑屈で根暗な性格を持つアブナイ奴であるものの、その反面、本当は兄弟思いのいい奴で、猫が大好きという、母性本能をくすぐる要素満載のキャラです。

前掲のポスターの最上段にいるのが、五男の十四松です。イメージカラーは黄色。目の焦点が合っておらず、口が開きっぱなしなので、一松と同様、かなり判別しやすいと思います。また、アホ毛が一本のみという明確な特徴を有していますが、これはアホ毛ではなくアンテナという説もあります。

十四松は、公式サイトにて「異常に明るく、異常にバカ。なんかよくわからない。」と紹介されているとおり、とにかく言動が奇抜かつ意味不明で、頭のネジが完全に飛んでしまっているハイテンションキャラです。実は兄弟の中で一番深い闇を抱えているという噂もあります。上限なしのハイテンションが可愛い、と女性の間では根強い人気を誇っています。

最後に、前掲のポスターの中段左側にいるのが、末弟のトド松です。イメージカラーはピンク。愛称は「トッティ」。アヒル口で、黒目がやや大きいという特徴を有していますが、表情によってはおそ松と判別しづらい場合があります。

トド松は、女子力とコミュニケーション力が高く、

兄弟の中で女性とともに会話ができる唯一のキャラです。可愛さの裏に隠された腹黒さがクセになります。

4. 我が家の「推し松」事情

以上からわかるように、六つ子はそれぞれ強烈な個性を持っているため、「松クラスタ」の大多数は、それぞれ「推し松」(六つ子のうち、特に気に入っているキャラクター)が決まっています。

ちなみに、我が家では、私→カラ松推し、妻→トド松推し、長女(12歳)→(熱狂的な)一松推し、次女(6歳)→(熱狂的な)トド松推し、という感じです。

【娘達のバースデーケーキ】



(長女)



(次女)

【娘達の痛バッグ】



(長女)



(次女)

5. おわりに

残念ながら、「おそ松さん」のTV放送は今年(2016年)の3月に終了してしまいましたが、いまだに新たなグッズが続々登場しており、「おそ松さん」市場はまだまだ活発です。

おそ松さんの魅力は、とても言葉では言い表せません。DVD・ブルーレイが絶賛発売中なので、是非見てみてください。

「松クラスタ」への仲間入り、お待ちしております！



泡、時々ネギ、所により一時チョコレート

池 田 俊 彦 (P A会)

■マイルージ旅行

航空会社のマイルージプログラムにもいろいろありますが、事実上有効期限がないことを理由に貯め始めたノースウェスト航空（現デルタ航空）のマイルージも、約15年で25万マイルを超えました。折角なので、以前から行きたかったバルセロナに家内と二人でビジネスクラスで行って来ました。ただ、ハイシーズンの特典チケットは全く取れず、1月中旬の旅行となってしまいました。なお、ビジネスクラスとはいっても、AF社のパリーバルセロナ間の機体にはビジネスクラス専用の席はなく、エコノミー2人席を単に1人で使用する、という腰砕けなもので、通路の右側の2席と左側の2席が2人にアサインされただけのものでした。

■オフシーズンのバルセロナ

1月はオフシーズンとはいっても、バルセロナの街には観光客らしき人たちもそれなりに見受けられました。カサ・バトリョなど、ハイシーズンだと入場の待ち時間が数十分となることもあるとの情報もある施設が待ち時間なしで入れたりもしたので、やはり夏場に比べるとかなり観光客が少なかったようです。とはいえ、整備・点検等のため休業となっている施設もあり、オフシーズンなのだと感じます。

■Cavaの町

Cava：Wikipediaによると「スペインの特定地域でシャンパーニュ式製法を用いて生産されるスパークリングワイン」とされています（ここでは「シャンパーニュ式製法」の表現の適否について議論するのはやめておきましょう）。日本にも多くのCavaが輸入されており、なかでもFreixenet（フレシネ）は、スーパーやコンビニでも扱っているので、目にした

ことがある方も少なくないと思います。

さて、このCava、バルセロナ近郊のペネデス地方が最大の産地だそうで、特にバルセロナの中心のカタルーニャ広場から電車（R4号線）で約45分のSant Sadurní d' Anoya（サン・サドゥリニ・ダノイア）には、多くのボデガ（ワイナリー）が集まっています（実際に、日本の店頭のカバの生産地を見ると、ほとんどが「Sant Sadurní d' Anoya」と記載されています）。

Sant Sadurní d' Anoya駅のホームに降り立つと、目の前に「Cava Freixenet」と書かれた大きな建物が目に入ります。最大手Cavaメーカー Freixenetの本社・工場です。近所のコンビニに並んでいるFreixenetがここで作られたことを考えると、「はるばるここから来たのか……」との気分になります。



Sant Sadurní d' Anoya駅。正面の建物がFreixenet社。

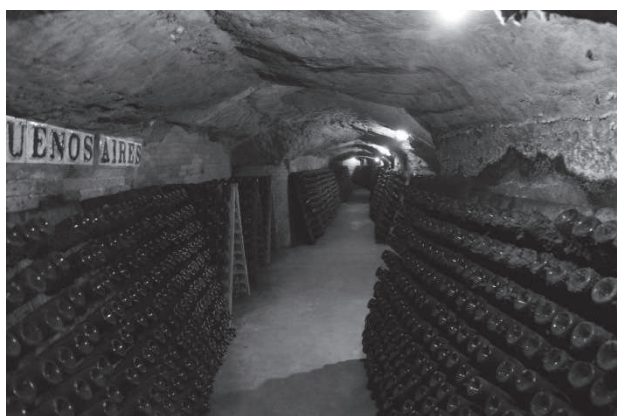
■Sant Sadurní d' Anoya散策

ボデガの見学は、駅前でアクセスもしやすいFreixenetは日本でも飲めるので、大手でありながら日本ではあまり見ないCodorniu（コドルニウ）（1551年創業、Cavaの生産は19世紀末から）のアポをとっていました。CodorniuはSant Sadurní d' Anoyaの町外れ、駅からは徒歩30分ほどの距離。アポまで時間があるので、町を散策しながら歩いていくと、ボデガ

の隣にボデガ、その向かい側にもボデガ、1件隔ててまたボデガ、と表現しても過言ではないほどボデガが並んでいました。さらに、町の中で面白そうな施設を見つけたので、午後の見学の予約を入れました。

■Codorniu訪問

Codorniuでは、歴史、Cavaの作り方、建物や製造設備の説明を受けながら構内を移動し、その後、地下貯蔵庫に下りていきます。地下貯蔵庫は敷地内を縦横に張り巡らされ、総延長で数十kmにもなるようです。通路ごとに名前が付けられ、「Tokyo」と名付けられた通路もありました。



Codorniuの地下貯蔵庫。側面に通路の名称が表示されている。

この地下貯蔵庫から地上に上がるとそこは試飲室。当日は4名の見学者に対してロゼと白、2本のスパークリングワインが提供されました。どの銘柄が提供されるかは、マネージャの気分だそうで、案内役の人も試飲室に入るまでわからないようです。



試飲に供されたCavaと試飲室。

■カルソッツ

Codorniuの人に教えてもらった街の中のレストランでのランチ。ここでは、どの客も山盛りの黒焦げの細長い野菜を手づかみで食べていました。冬のカタルーニャ名物のネギ焼「カルソッツ」でした。オーダーしてみると、黒こげになった外皮の中には、甘くとろりと蒸し焼きになったネギが現れます。オフシーズンのバルセロナでしたが、カルソッツに出会えたのは大収穫でした。当然、家内と山盛りのネギを食りました。

ちなみに、カルソッツで供されるネギは、見た目は長ネギですが、正式には特殊な方法で栽培した玉ねぎなのだそうです。

■Simon Coll

Codorniu訪問の前に町を散策しているときに見つけたチョコレート工場。受付で聞いてみると見学OKだったので、午後の見学を申し込みました。

実はSimon Coll社は、「Simon Coll（シモン・コール）」と「Amatller（アマトリェール）」の2つのブランドを持つ老舗だそうで、Sant Sadurní d'Anoiaの工場では、小規模な生産ラインを見学者に公開しているとのことでした。このラインでは、生力カオから加工を始めてチョコレートまで作りますが、このラインでできたばかりの固化前のチョコレートの試食（試飲？）もさせてくれました。

それ以来、同社のチョコレートは日本ではあまり流通していませんが、見つけると買ってしまおうものとなっています。

■INTA Annual Meeting 2017

2017年のINTAのAnnual Meetingは、バルセロナだそうで……日本からも多くの方が参加されるでしょう。1日滞在を伸ばしてワイナリーとチョコレート工場を訪れてはいかがでしょうか？

なお、この原稿を提出した1週間後、小生はSant Sadurní d'Anoiaにいる予定です。今回は、高評価ながら日本ではほとんど扱われていないCava Recaredo（レカレド）と2度目のSimon Collに見学の予約を入れています。



このコミック＆アニメが面白い！ (PART4)

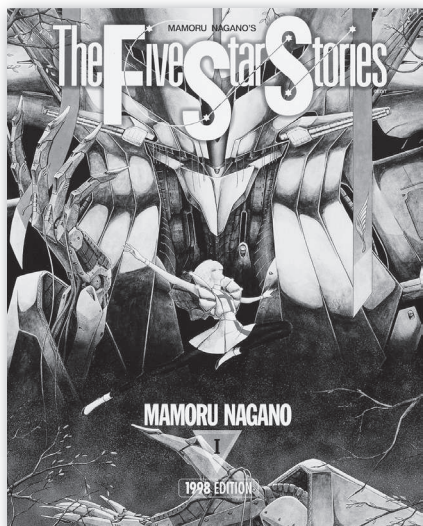
野田 薫 央 (PA会)

1. はじめに

オタク弁理士の野田です。「またお前か」と言われそうですが、今年も私が好きなコミック・アニメを紹介するため白い視線も気にせず参上しました。暫しお付き合いください。

私事ながら私は今年から松田綜合法律事務所に所属しています。この場を借りてお知らせ致します。また、発明推進協会「発明」誌に4コマ漫画を含む「商標まんが判例道」を隔月連載中です。興味があればそちらもご覧下さい。それでは、今回の作品を紹介します！

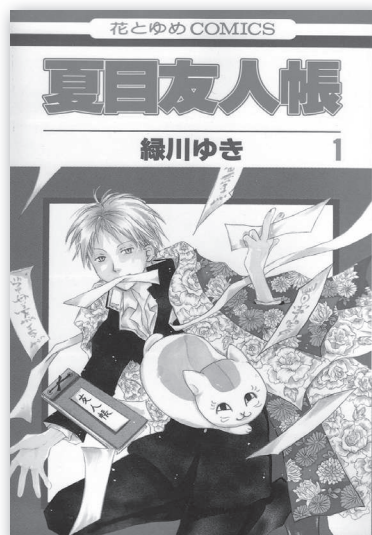
2. コミック編



©永野護／株式会社KADOKAWA

題名	ファイブスター物語
著者	永野 護
巻数	既刊 13 巻

1986年から数度の休載を挟み、現在も連載中の人気SF大河ドラマ。巨大人型兵器モーターヘッドが闊歩するジョーカー太陽星団を舞台に、数世代、数百人に及ぶキャラクターと、多くの星と国家が入り乱れて歴史を刻む壮大な物語。登場人物の名前を覚えるだけでも大仕事。なんと巻末に星団の年表があり、既定の歴史の中で物語が展開する。2013年に9年ぶりに連載が再開されてファンは狂喜。でも30年で13冊のペースだと全エピソードが描かれるのかどうか不安も。とにかく、早くもっと続きが読みたい！



©緑川ゆき／白泉社

題名	夏目友人帳
著者	緑川 ゆき
巻数	既刊 20 巻

幼くして両親を亡くし、妖怪が見えることで他人から行動を気味悪がられ、親戚を転々として育った高校生の夏目が主人公。早くに他界した祖母レイコも強力な妖力で多くの妖怪の名前を友人帳で縛ったため、祖母だと勘違いした妖怪から襲われることが多い。当初自分の能力を呪っていた夏目も、能力を通して多くの妖怪や人間と触れ合い、それを受け入れて人間として成長していく。夏目の相棒のニャンコ先生（妖怪）がとても魅力的。2008年にTVアニメ化され、2016年10月からアニメ第5期が放送開始予定。

3. アニメ編



©VisualArt's/Key/光坂高校演劇部

TV アニメ	CLANNAD
その他	Blu-ray・DVD シリーズ好評発売中

タイトルは「クラナド」と読む。「泣きゲー」(泣けるゲーム) 分野で有名なKeyの原作ゲームを2007年に京都アニメーションがTVアニメ化。「家族の絆」をテーマに、涙あり笑いありの展開で、野田もめちゃめっちゃ泣いた作品。オタクの間では『CLANNADは人生』という合言葉を使って称賛する。すさんだ高校生活を送る朋也が、渚をはじめとする個性的なヒロインたちと縁を持つことで、それぞれが抱える家庭の問題や逆境を乗り越えていく物語。アニメ2期で結婚した智也とヒロインは娘をもうけるが、その後に辛い運命が待ち受けて…。主題歌も泣ける。



©2016「君の名は。」製作委員会

映画	君の名は。
その他	2016 年 9 月 5 日現在上映中

本稿入稿直前の8月26日に封切られた新海誠監督の3年ぶりの新作映画。公開10日間の興収が38億円を超え、予想外の大ヒット中(前作「言の葉の庭」も良作だったが最終興収は1億円台)。オタクの間では定評のあった新海作品が急にメジャーになり少し寂しいが、良い作品が評価されるのはやはり嬉しい。前半は都会の男子高校生(瀧)と田舎の女子高生(三葉)の精神が入れ替わるライトコメディ。そして中盤からは、1200年ぶりの彗星接近を絡めた手に汗握る恋愛青春活劇。伏線も多く、鑑賞後に小説版で復習するのもお勧め。DVDが出たら見て涙すべし!

4. まとめ

過去紹介作品『3月のライオン』『バクマン。』『うさぎドロップ』『ヨルムンガンド』『海街diary』『蟲師』『化物語』『涼宮ハルヒの憂鬱』『星界の紋章』『半分の月がのぼる空』『秒速5センチメートル』『宇宙戦艦ヤマト2199』を加え、今回で延べ16作品を紹介しました。基本ネタバレなしの解説なので面白さが伝わるかどうか心配ですが、いずれの作品もお勧めです

で、興味のある作品があれば是非コミックやDVDをチェックしてみてください。

また、今回も各社に画像の使用についてお願いしたところ快諾していただきました。感謝申し上げます。なお、入稿前に急遽紹介することにした1作品だけは、公式サイトからの引用です。完全許諾を達成できずにちょっと残念です。それでは、また! (?)



ボランティア活動・キャンプ 「むさしのジャンボリー」

羽 鳥 慎 也 （無名会）

1. むさしのジャンボリーについて

（1）むさしのジャンボリーについて

むさしのジャンボリー（以下ジャンボリー）とは、東京都武蔵野市内在住の小学4年生から6年生が、長野県川上村にある「市立自然の村」で2泊3日の自然体験を行うキャンプです。大自然の中で、友人や地域の大人と共同生活を行い、キャンプファイヤーや星の観察など、様々な野外活動を体験します。ジャンボリーは、昭和47年に始まり、これまで、のべ48,905人（2015年度ジャンボリー終了時点）の子ども達が参加してきました。

私はボランティアとして、ジャンボリーで子ども達のキャンプリーダーを務めています。ジャンボリーは武蔵野各地区の小学校で行われており、私はキャンプネーム「ぷっちょ」(某有名商品と誤認混同は生じておりません。)と親しまれ、子ども達のキャンプを盛り上げています。

（2）川上村・自然の村について

川上村は長野県の右端にある小さな村で、日本有数のレタス産地です。2015年にソユーズ宇宙船に搭乗した宇宙飛行士・油井亀美也さんの故郷でもあります。標高が1500mあり、夏でも気温が30度を超すことがなく夜は少し肌寒いほどです。虫はいますが蚊はいないため、とても過ごしやすい場所です。

その川上村の中にある「自然の村」は武蔵野市と提携している野外活動施設であり、広大な敷地内に、宿泊施設、キャンプ施設、天体観測施設、遊歩道やハイキングコースがあり、四季折々の自然を楽しむことができます。

（3）私とジャンボリーのかかわり

私は大学時代に大学のボランティア団体の立ち上

げに参加し、団体の代表を務めていました。そのため、地域のごみ拾いやお祭りの手伝いから、福島の前線支援・海外のボランティアまで様々なボランティアに参加して来ました。その中でも大学三年生から参加し、大学を卒業してから現在まで継続して続けているボランティアがこのジャンボリーです。私はジャンボリーに参加して今年で6年目となり、毎年の楽しみの1つになっています。

2. 活動内容

ジャンボリーでは小学生をメンバー、中学～高校生のボランティアをサブリーダー、大学生以上のボランティアをリーダーと呼んでいます。メンバー・サブリーダー・リーダーを含めた10人程の班ごとに編成され、2泊3日を共に過ごします。

基本的な役割として、すべての活動をメンバー自身が行い、サブリーダーはその指導、リーダーはサブリーダーの指導・全体の安全管理といった具合に分担されています。

それでは、2泊3日の主な活動をそれぞれ説明します。

（1）1日目

①ナイトハイク

1日目夜のプログラムにナイトハイクというものがあります。ナイトハイクは、真っ暗な森の中を班ごとに懐中電灯1本で歩く肝試しです。森の中にはサブリーダーが待機し、メンバー達を脅かします。中には本当に怖くて動けなくなってしまうメンバーもいる程怖いと評判です。

その中で私は、ナイトハイク前に怖い話をするストーリーテラーを担当しています。私はホラーがニガテで、話の半分は怖い話を披露しています。

ただ、怖い話を作るのは好きなので、毎年新しい怖い話を創作し、子ども達を恐怖のどん底に叩き落としています。

しかし、子ども達にとっては怖面白い話の方が評判らしく、苦勞して作っている割に少し悔しい思いをしています。

②天体観測

ナイトハイクが終わった後、星の広場と呼ばれる営火場に集まり、全員で星を観測します。川上村から見る星空はとても綺麗で、油井さんが川上村の星空を見て宇宙飛行士を目指すきっかけとなったと聞いたことがあります、その話が納得できる程満天の星空をみることができます。また、自然の村には500口径の望遠鏡があり、運が良ければ綺麗な土星を見ることがもできます。

(2) 2日目

①ハイキング・川遊び

2日目は川上村近隣の山にハイキングに行きます。ハイキングでは岩の展望台という岩の頂上まで登ります。この展望台からの眺めはこれまた絶景で一見の価値あります。

また、ハイキング途中にある川で川遊びを行います。その年の川の状況にもよるのですが、大きな石の上から川の中へ飛び込みを行うことも出来ます。川の水はとても冷たく必至で山の中を歩いてきた私達を迎え入れてくれるオアシスのようです。

②カレー作り

2日目の夜ご飯は、キャンプの醍醐味であるカレー作りをします。ジャンボリーでは、メンバーが自分自身で野菜を切り、薪を割り、火を付け、飯盒でご飯を炊き、カレーを作ります。自分自身で作るご飯は格別らしく皆とても美味しそうに食べます。また、各班でカレーの出来を競う競技があり「俺の班が一番美味しい！」と、毎回大騒ぎの大盛り上がりになります。

③キャンプファイヤー

最大のメインイベントであるキャンプファイヤーです。サブリーダーが考えた出し物で遊んだり、「ジンギスカン」や「ゴーストバスターズ」の曲に合わせて踊ります。私も持ちネタとして、「ハイズカズンバ」と言う踊りを毎年メンバー達に教えて踊ります。自分も楽しむことが子ども達を楽しませることに繋がっていると思うので、自分が一番楽しんでいるように見えることを心掛けて激しく踊ります。毎年踊りの後は酸欠気味になります。

(3) 3日目

①レタス刈り

最終日はお世話になったキャンプ場の清掃等の後、お土産のレタスをメンバーが自分自身で刈ります。私は、今度はレタス農家の人に変身し、レタス刈りの指導を行います。採れたてのレタスは、切った断面から勢いよく水が滴り落ちる程新鮮です。私は毎年持ち帰ったレタスを鍋でさっと湯通ししてポン酢で食べます。めちゃめちゃ美味しいです。

3. ジャンボリーに毎年行きたくなる魅力の理由

(1) 星

とにかく星が綺麗です。メンバー達との天体観測の他にも消灯後、リーダー達のみで星空を見に行ったりします。深夜0時頃からの夜空は特に綺麗です。この星空を見るために毎年ジャンボリーに行っていると言っても過言ではないほど魅力的です。

(2) 子ども達の成長

もう一つ、私の毎年の楽しみとしてメンバー・サブリーダー達の成長を見ることができることです。小学4年生の時出来なかった火付けが、小学5年生の時には出来るようになったり、川遊びで飛び込みが出来ようになったりして、一年間で成長していくメンバー達に出会えると、私自身もより成長しなければならないという気持ちになります。

また、サブリーダーの成長も魅力的です。6年前、初めて行ったジャンボリーで私と同じ班でワンパクだったメンバーが、今では立派なサブリーダーの指

導者として活躍している所を見ることができます。
私は未だ子どもはおろか結婚もしていませんが、そんな姿をみると息子の成長を見ているようで勝手に誇らしくなっていたりします。

(3) 地域の人とのかかわり

私は故郷群馬から大学進学と共に上京して以来、武蔵野市に住んでいます。僕以外のボランティアのほとんどは、小学生の頃からジャンボリーに参加している方達ですが、何も知らずに参加した私を暖かく迎え入れてくれました。ジャンボリーを通して知り合いも増え、武蔵野市は私の第二の故郷と言える場所になりました。その第二の故郷に少しでも恩返しができるのがジャンボリーなのです。

4. おわりに

以上、私が行っているボランティア活動についてご紹介させて頂きました。このようなボランティア以外にも様々なボランティアが存在します。ご興味を頂いた方は市役所や各地域のボランティアセンターに足を運んでみてください。手軽に、新しい人や体験に触れられる良いチャンスだと思います。

レモンの皮算用

亀 山 夏 樹 (無名会)

自宅の庭に木を植えたい！

ある日の週末の家族会議。

議題は「どんな木を植えようか？」

最初は、「花が楽しめるのがいいね」

次第に、「やっぱり、食べられる実がとれるほうがよいよね」

結局「両方楽しめるもののがいいよね」

欲の皮は突っ張りまくる。

肉の塊は欲の塊。

「花と実。両方楽しめる木ってなんだろうか？」

「みかん、キンカン……だとか。」

「ああ柑橘系ね。それなら近所でもよく見かけるし。簡単なんじゃないかな？」

「でも、折角育てるなら、他と違うもののほうがよくないかい？」

「なるほど、希少性もいいね。」

希少な国内産

地元スーパーの価格。我が家のマーケットリサーチによれば、「通常、海外産は1個100円、国内産は1個200円、さらに無農薬レモンは、250～300円(当時)」とのこと。

自宅の庭で取れたレモン。当然ながら国内産。もちろん、農薬、除草剤、そしてワックスもなし。自宅の庭で取れたレモンの市場価格は、1個250円が妥当か？

しかも、加えて「取れたて」なんだから1個300円！？

頭の中で「チャリーン」と金の鳴る音が聞こえ……レモンに決まる。

やっぱり、肉の塊は欲の塊。

レモンの成長計画

近所のホームセンターにてレモン選び。選んだ品種はリスボン。本によれば、育てるのが簡単な品種らしい。

本当は、実付きの苗が欲しかったものの、売っていない。他の店に行って探してもよいだが、「実が付くまでの喜びも楽しめそう！」「早く植えたい！」との声もあり、実なしのひょろひょろとした苗を買う。高さは120cm、幅は20cm、葉の数は10枚程度(苦笑)

本によれば、最初に実がつくのは、3～5年生。一方、今回買った苗は、2年生。実がつくまで「あと1～2年」。それなら我慢できる。

本によれば、実1つを成長させるためには、葉が20～30枚が必要とのこと。

「葉が20枚ってどんな規模だろうか？」近所の農家のレモンと比べながら、幹の太さ・枝の数・太さから、数年後の葉の数を妄想する。

うちの子なら、葉っぱが150枚前後くらいつくだろうな(親バカ)。

だとすると、収穫できるレモンは5個くらい……

ということは、最初の年は、1500円(チャリーン)。

いやいや、もう少し葉が茂れば……意外とうまくいけば10個ちかくとれるカモ。そうすると3000円(チャリーン)。

庭の空間を考慮すると、木の大きさは、年に30～40個取れそうな大きさが限度。それでも、毎年1万円前後。

毎年、放っておいてもレモンの実がなる。毎年、チャリンチャリンと音が鳴る。

こんなレモンの皮算用が楽しかったりする。

剪定作業

本によれば、春先に選定が必要とのこと。

暫く切っていると、どこからかいいい香りが。レモンのような？ まだ花も実もついていないですが、ほのかなレモンの香り。

クンクン嗅ぎまわっていると、葉や枝の切り口から香っていることに気づく。それぞれレモンの香りだけでも、ほんの少しずつ違う。

香りの個性に気づいた剪定作業。

4年目の春

春は、若芽の季節。花芽の季節。「これは、若芽か？花芽か？」これが毎朝の楽しみ。

4年目の春。花芽を発見！！ あっちにもある。こっちにある。数を数えてみると……およそ20個。

これで6000円分（チャリーン）大事に大事に。

その後、春の暴風で、ほとんどの花芽がもげ……

残りの1つは台風でもげ……結局この年は0円。

5年目の春

たくさん花芽。そして、沢山の花が咲く。時折、風に乗ってやってくるレモンの香り。

レモンの実、葉、枝の香りとも少し違う。

その後、実を付けるも……台風により生存者1名。そして、初めての収穫。ありがたい1名様。

レモン第1号

折角なので、葉の香りも使えそうな「葉っぱの包焼き」を作ることに。

一口食べてみる……レモンの葉、レモンの皮、そして、レモンの果汁。似たような香りの中でも、それぞれが異なる主張をしてくる。それでいて、ミンチとの相性の良さは崩さない……絶妙なハーモニー。ワインがすすむ一品。絶品。

自宅で育ったレモン。

一緒に育てたレモン。

これを使った料理を家族と食べる、ワインを飲む。

この充実感はプライスレス！

2017年（6年目）

現在、木の高さは、3m弱。幅は4mくらい。



実の数は、20～30個。8月ごろから、摘果をしながら、実の育ち具合を確かめる。8月上旬ごろに摘果した実。果汁が少ない。味のほうは、ひたすら酸っぱい。8月下旬ごろに摘果した実。果汁が徐々に増え、酸味の中に甘味が芽生えてくる。

一人前のレモンとして順調に育っているようです。



収穫の冬まで、あとは祈るばかり。

今年のレモン。

収穫の冬までもう少し。

今年はどんな食べ方をしようか？

レモンソースのパスタにしようか？

デザートなら、マチェドニアがいいかな？

こんなことを家族会議。

レモンを通して、自然に対する畏敬の念、そして、家族の団らん……。

「お金よりも素晴らしいものが、実は身近にあるんだなあ」と気づいたのはここ数年の話。

レモンの実が、そしてレモンの香りが、「レモンの値段」を忘れさせてくれました。

レモンと一緒に成長しました。

「レモンの皮算用」からの卒業も近そうです！

……チャリーン（失敬）

おしまい